

令和4年度 当初予算の概要

令和4年度予算は、新型コロナウイルスへの対応を最優先に進めていくことはもちろんですが、限られた財源の中で着実に財政再建を推進するため、経費の縮減や税収入などの自主財源の確保に重点を置き編成しました。

併せて、将来にわたって継続可能な町政運営を確立していくとともに、福祉の充実と地域の活性化により、町民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

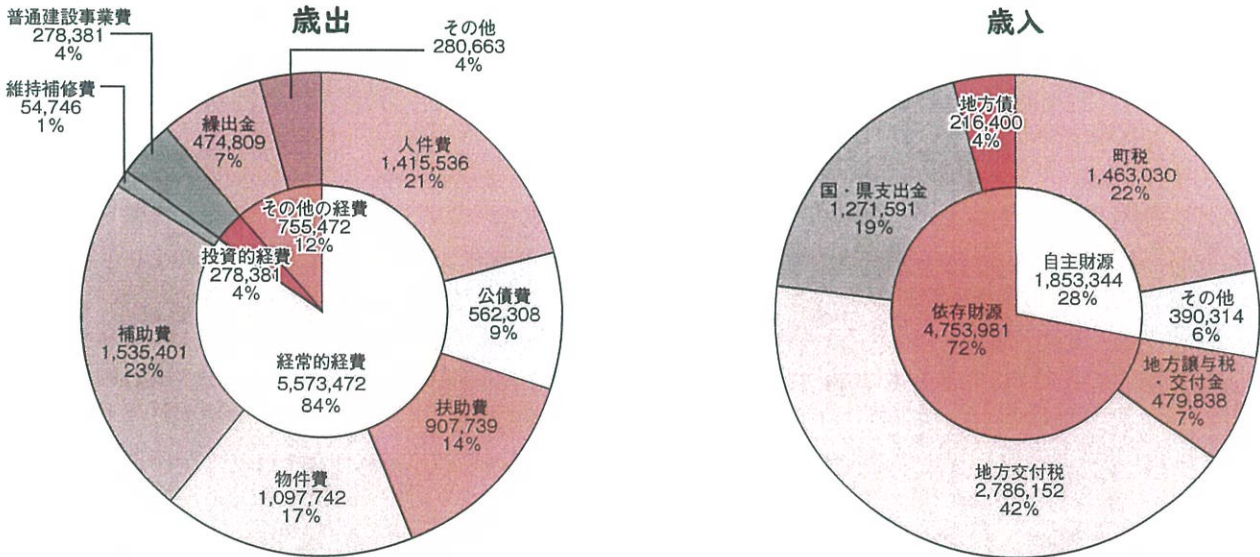
【予算概要】

歳入では、自主財源の柱である町税で7.7%の増収を見込み、依存財源である国庫支出金では新型コロナウイルス対策などで17.3%の増収を見込んでいますが、地方交付税は震災特別交付税の減額により4.2%の減収を見込み、町債では借入金額の縮減により34.6%の減収を見込んでいます。

歳出では、経常経費の物件費で業務委託の増加などにより11.7%の増加を見込み、補助費などでは大崎地域広域行政組合負担金などの減額で13.8%の減少を見込んでいます。

一方で、投資的経費では、教育施設の設備改修や町道の整備など、普通建設費で9.9%の増加を見込んでいますが、予算総額としては、前年比で2,358万3千円(0.4%)の減少となりました。

一般会計当初予算 66億732万5千円



各特別会計・企業会計当初予算

特別会計

会計名	金額	会計名	金額	会計名	金額
国民健康保険特別会計	18億9,614万5千円	後期高齢者医療保険特別会計	1億8,095万2千円	介護保険特別会計	18億7,863万9千円

企業会計

会計名・区分	金額		会計名・区分	金額	
	収入	支出		収入	支出
国保病院事業会計	収益的	20億2,144万4千円	水道事業会計	収益的	4億2,306万8千円
	資本的	1億4,800万6千円		資本的	4億 133万9千円
老人保健施設事業会計	収益的	5億2,583万4千円	下水道事業会計	収益的	4億6,987万2千円
	資本的	3,246万5千円		資本的	4億 3,860万円
訪問看護ステーション事業会計	収益的	6,596万6千円			
	資本的	—			